

—— お知らせ ——

核医学画像の定量化・基準化のための ワーキンググループ (WG) 報告について

日本核医学技術学会 学 術 委 員 会
学術委員長 齋 藤 京 子
WG 担当理事 仁井田 秀 治

【定量化・基準化 WG の活動内容】

核医学は新しい医薬品の開発と検査機器の進歩が両輪となり、発展を遂げてきました。しかし、更なる発展をするためには核医学画像の信頼性や客観性を向上させ、EBM (evidence-based medicine : 科学的証拠に基づく医療) を確立することが重要と考えます。EBM のためには、優れた画像や基準化された画像がどのようなものか、どうすればそれを実現することができるのかを関係者全員が知っていることが必要です。

そこで、本ワーキンググループでは、昨年より全核医学施設を対象に大規模なアンケート調査を行い、核医学診療の実態を把握し、臨床現場の意見や指摘を取りまとめてきました。そのアンケート報告は本号 (24巻2号) に掲載していますので、今後の核医学技術の発展に役立てるためにも、是非とも御一読ください。

また、ユーザーの結果を踏まえて、今年度は核医学で代表する装置メーカーに対しアンケート調査を行いました。その結果については改めて誌上で御報告する予定ですが、本総会において WG メンバーとメーカー5社の代表者が集まって、討論会を開催いたします。この討論会では、ユーザーの持っている疑問を直接メーカー担当者から聞くことにより、突っ込んだ意見の交換をすることで本音の議論をしたいと考えています。詳細は下記に示しておりますので、多数のご参加をお待ちしています。

【定量化・基準化のための討論会】

上述のように、機器メーカー5社に対し「核医学診療の実態と画像の収集・処理・表示・出力の標準化に関するアンケート調査」を実施致しました。ご協力いただきました方々にはこの場借りまして、心より御礼申し上げます。つきましては、このアンケートを基に WG メンバーとメーカー代表者との討論会を以下の要領で行いますので、是非ともご出席ください。

日 時 : 平成16年7月25日 (日) 14 : 00~15 : 00

場 所 : 第24回総会学術大会 (千葉市文化センター) 第1会場

テーマ : 「機器メーカーは標準化のために何ができるか」

参加者 : WG 代表者 大屋 信義, 寺岡 悟見, 仁井田秀治, 柳沢 正道

メーカー側 島津製作所, シーメンス旭メディテック, GE 横河メディカル, 東芝メディカル, 日立メディコ, 各代表者

司 会 : 片渕 哲朗